

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		外国人のための行政通訳窓口事業						予算事業名		国際交流推進事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				02	01	11	2001	経常経費						
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業				
		4-6国や地域を越えた交流の推進(国際交流・地域間交流)												
		①国際化に対応したまちづくりの推進						担当課係等		企画政策課				
3外国人の生活支援						企画調整係								
事業期間		継続(平成21年度～平成33年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
在住外国人の市役所での窓口業務が円滑に進むようになる。また、在住外国人及び外国人が生活する地域の住民が共生できるようにする。							市税や健康保険、年金、市営住宅関係等、十分な説明が必要な事務が多い市役所において、言葉の問題のために内容が理解されないことがあった。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
行政通訳窓口の設置 ・ポルトガル語、スペイン語、英語の3ヵ国語対応 ・生活するうえで必要な手続き等についての通訳 ・市報や市からの通知等、各種行政情報の翻訳 ・生活に必要な情報の提供							在住外国人、外国人が生活する地域の住民及び市窓口職員							
							【事業をとりまく環境の変化】 在住外国人が増加し、窓口の案内等も多様化している。外国人児童生徒も増え、小中学校からの保護者会での通訳や通知表、配布文書等の翻訳依頼も多い。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
外国人行政通訳窓口委託(1名) ・ポルトガル語、英語 ・週3日				外国人行政通訳窓口委託(1名) ・ポルトガル語、英語 ・週3日				外国人行政通訳窓口委託(1名) ・ポルトガル語、英語 ・週3日						
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	1,933	2,800							
歳入計(千円)				1,933		2,800								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)								
	13委託料			1,933		2,800								
歳出計(千円)(A)				1,933		2,800								
伸び率(%)						44.85								
備考	総合計画129ページ 予算書47ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	行政窓口通訳の設置	人	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	通訳件数（通訳・翻訳）	件	目標	370.00	450.00	460.00
			実績	442.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	在留外国人が増加し続けており、必要性の高い事業である
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政窓口における通訳である
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	現状の体制を検討していく必要がある
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	最小人員1名の派遣委託であるため、ニーズに応えきれない場合がある
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	過度なリピーターが出てきている
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	窓口での事務効率化につながっている
進捗度	事業の進捗	A 順調である	安定した事業となっている
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
在住外国人は増加しており、高まるニーズと求められる内容が変化しつつある。設置より年数が経過し、リピーターによる通訳以外の相談も見受けられる			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
利用者の利便性や職員の効率化を考慮すると、行政窓口通訳は、利用件数が多い窓口にも配置すべきである			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 行政通訳のニーズがますます高まる中、外国人と窓口職員にとって、効率の高い利用方法が求められる。安定した通訳者の確保が今後の課題である。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。